



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 スターティア株式会社  
コード番号 3393

上場取引所 東

URL <https://www.startia.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 (氏名) 本郷 秀之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 植松 崇夫 (TEL) 03-5339-2162

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,619	13.1	△6	—	△2	—	40	—
29年3月期第1四半期	2,315	2.8	△177	—	△189	—	△43	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 18百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △31百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	4.02	—
29年3月期第1四半期	△4.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,532	3,927	71.0
29年3月期	5,894	3,970	67.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,927百万円 29年3月期 3,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.00	—	6.00	9.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	3.00	—	6.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,922	3.1	△126	—	△126	—	△24	—	△2.38
通期	10,500	2.1	100	△62.3	100	△65.0	112	—	11.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	10,240,400株	29年3月期	10,240,400株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	138,992株	29年3月期	138,992株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	10,101,408株	29年3月期1Q	10,195,908株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の回復に伴う輸出の持ち直しや、インバウンド需要の回復、消費マインドの持ち直しにより、景気回復基調で推移しましたが、人手不足感に伴う人件費上昇懸念から先行きに慎重さが見られました。また、当社グループの顧客である中堅・中小企業の業況は、緩やかに改善しております。

このような事業環境のもと、当社グループが属する業界は、昨今、クラウド化といった新しい技術革新が起こっており、多くの企業が時流に取り残されないように常に新しい技術をビジネスプロセスに組み込み、日々IT環境が変化している現状であります。このような環境の変化に対応するため、ビジネスモデル自体の柔軟な対応が必要と考え、当社は、定期訪問による顧客との良好な関係を通じて、顧客目線に立ち、中小企業等のニーズに対応していくため、顧客にとって望ましい体制、仕組みである「カスタマー1st(ファースト)」を構築し、2年目を迎えました。

また、平成29年4月14日にリリースいたしましたとおり、当社グループは、昨今のIT業界における時代の変化に乗り遅れることなく、最新の技術動向を見据え、迅速な意思決定ならびに機動力を持った経営を推進してけるように、平成30年度を目途として、スターティア株式会社を持株会社と事業会社に分離した持株会社体制移行への検討を開始いたしました。

当社グループのサービスに関しましては、経済産業省の「平成28年度補正サービス等生産性向上IT導入支援事業」において、「IT導入支援事業者」として採択され、当社グループが提供する中堅及び中小企業向けホームページ制作サービス「CMS BlueMonkey(シーエムエスブルーモンキー)」、マーケティングオートメーションツールの「BowNow(バウナウ)」等が補助金対象のITツールとして認定されました。

以上の通り、当社グループは、ストックビジネスを着実に成長させ、「リカーリングモデル」による安定的な収益基盤を築き、中堅・中小企業の生産性の向上に寄与する事業展開を行い顧客関係の強化に取り組む一方で、将来の経営環境の変化に対応していくための活動を行ってまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は2,619,573千円(前年同四半期比13.1%増)、営業損失は6,430千円(前年同四半期は営業損失177,641千円)、経常損失は2,053千円(前年同四半期は経常損失189,406千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は40,577千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失43,656千円)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

#### (デジタルマーケティング関連事業)

当第1四半期連結累計期間におけるデジタルマーケティング関連事業は、以下の通りであります。

デジタルマーケティング関連事業におきましては、「ActiBook(アクティブック)」や、「ActiBook AR COCOAR(アクティブック エーアールココアル)」(以下「COCOAR」といいます)、「App Goose(アップグース)」、「CMS Blue Monkey」「Plusdb(プラスディービー)」、「BowNow」を始めとしたアプリケーションの開発・販売を行っております。また「ActiBook」をはじめとする複数の企業向けソフトウェアを定額で利用できるサービスとして、統合型デジタルマーケティングサービスである「Cloud Circus(クラウドサーカス)」を提供しております。これらの企業向けソフトウェアを活用することで、ポスター等、紙媒体にAR(拡張現実)を設定しウェブサイトへの誘導を促し、ウェブサイトの閲覧履歴を計測、自社の製品やサービスに興味がある有望な顧客を割り出し、顧客の関心事に合ったシナリオに基づいて電子メールを送信するといった自動的な販売促進活動が可能となります。「Cloud Circus」はツールの販売に加えて導入支援コンサルティングを同時提供することにより、クライアントのマーケティング戦略の見直し段階から当社グループが携わることにより、クライアントのマーケティング効果をより一層高めております。

アーリーアダプター層への販売が落ち着き、マジョリティー層に対する拡販をさらに効果的に進めていくなかで、価格センシティブな顧客に対して無料から利用できる、フリーミアムプランを投入して、顧客ニーズを引き出してまいりました。スマホ用ランディングページサイト制作ソフトの「creca(クリカ)」、アプリ制作ソフト「App Goose」、MA(マーケティングオートメーション)ツール「BowNow」のフリープランの受付を開始いたしました。

また、これまでの通常のソフトウェアのパッケージ販売、WEB制作に留まらず、当社のアプリケーションが持つ強みを活かしたデジタルマーケティングに関するトータルソリューションを顧客へ提供することで、他社との差別化を進めてまいりました。さらに、前期から継続して従業員教育を実施し、WEB制作スタッフの生産性の向上、

顧客の収益性を高めるため、付加価値の高いコンサルティングを提供することで事業の収益性を改善してまいりました。

その結果、デジタルマーケティング関連事業の当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は389,606千円（前年同四半期比112.7%増）、セグメント損失（営業損失）17,653千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）99,651千円）となりました。

#### （ITインフラ関連事業）

当第1四半期連結累計期間におけるITインフラ関連事業は、以下の通りであります。

ITインフラ関連事業におきましては、前連結会計期間より顧客目線に立ち、中小企業等のニーズに対応していくため、顧客にとって望ましい体制、仕組みである「カスタマー1st」を構築しております。「カスタマー1st」では、顧客企業が成長するためのIT化を推進しており、顧客に密着した商品やサービス提供をするために専任担当制を敷いて活動をしてまいりました。「カスタマー1st」移行から1年が経ち、顧客が実現したい要望やそれに対する課題を解決へ導き出す手法が当社に根付き始め、効果にも現れてきております。

また、当社の顧客である中小企業に対してIT化推進の活動を行いました。IT推進活動は、商品やサービスの提供に加え、数あるIT関連のトピックスを整理し、顧客企業の特性に合わせてわかりやすく適切に情報を発信することを重点的に行う活動であります。情報発信による集客と「カスタマー1st」による専任担当での営業活動との連動性を持たせることで、生産性の向上に努めました。

さらに、従来からの重点商材であるクラウド関連商材、ネットワーク関連商材、OA機器関連商材の販売を引き続き注力することで顧客のITデバイスの選定に対する課題を解消していくことに加え、中小企業においては、WEBに対する高い需要が見込まれるため、新たにWEBマーケティング関連商材の取り組みを開始し、顧客の売上向上という課題解決に対してもアプローチしていく体制を開始し、顧客企業との更なる関係強化を行ってまいりました。

その結果、ITインフラ関連事業の当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は2,229,966千円（前年同四半期比113.2%増）、セグメント利益（営業利益）16,645千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）69,604千円）となりました。

#### （その他事業）

当第1四半期連結累計期間におけるその他事業は、以下の通りであります。

その他事業におきましては、コーポレートベンチャーキャピタル事業を行っております。

当事業は、キャピタルゲインの獲得を目的としたベンチャー企業への投資事業を専門に行うためにコーポレートベンチャーキャピタル事業推進室（以下、CVC室）が推進しております。CVC室では、斬新なアイデアや革新的なテクノロジーによって新しいビジネスの創造に挑むIT系スタートアップ企業に出資、投下資金のエグジット（株式上場や第三者への被買収など）を目指してスタートアップ企業の成長をサポートします。CVC室は前期より活動の範囲を日本からシンガポールを中心とした東南アジアに移し、良質の投資先を発掘できるよう、現地での人的ネットワークの構築に注力しています。当第1四半期連結累計期間におきまして、Hostel Hunting Sdn Bhd（マレーシア）に投資を行いました。

その結果、その他事業の当第1四半期連結累計期間における売上高はなく、セグメント損失（営業損失）5,422千円（セグメント損失（営業損失）8,385千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は5,532,791千円、前連結会計年度末と比較して362,123千円減少いたしました。その主な内容は、受取手形及び売掛金の減少361,862千円があったことなどによるものであります。

負債の部は1,605,027千円となり、前連結会計年度末と比較して318,931千円減少いたしました。その主な内容は賞与引当金の減少96,575千円、買掛金の減少95,674千円や未払法人税等の減少26,837千円、長期借入金の減少116,826千円あったことなどによるものであります。

純資産の部は3,927,763千円となり、前連結会計年度末と比較して43,192千円減少いたしました。その主な内容は、四半期純利益40,577千円の計上、配当金の支払60,608千円、その他有価証券評価差額金の減少23,677千円があったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループでは、前連結会計年度に引き続き、国内に留まらず、アジアへのサービス展開を推進するとともに、国内事業におきましては、顧客視点に立脚した「カスタマー1st」体制移行初年度に集積した「情報」を「成果」に結び付け、顧客が期待するデジタルマーケティング関連サービス、クラウド関連サービスの開発を進め、顧客のニーズに即したソリューションを提供し、当社との良好な関係を構築し、ストックビジネスを基礎とする持続的成長が可能な収益基盤の構築を目指して参ります。

平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の連結業績予想につきましては、前回発表（平成29年6月30日公表「投資有価証券売却益（特別利益）の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ」）の予想数値からは変更はありません。

また、業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。従いまして、本業績予想のみに全般的に依拠して投資判断を下すことは控えられますようお願いいたします。また、実際の業績は、様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。

## 1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,221,131	2,395,043
受取手形及び売掛金	1,772,181	1,410,319
原材料	89,110	82,538
営業投資有価証券	188,637	212,188
繰延税金資産	82,360	54,507
その他	224,428	160,931
貸倒引当金	△79,297	△83,961
流動資産合計	4,498,553	4,231,569
固定資産		
有形固定資産	108,498	103,385
無形固定資産		
ソフトウェア	364,847	337,473
のれん	165,064	151,921
その他	1,113	1,113
無形固定資産合計	531,025	490,508
投資その他の資産	756,838	707,327
固定資産合計	1,396,362	1,301,222
資産合計	5,894,915	5,532,791
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	681,653	585,978
1年内返済予定の長期借入金	346,413	333,320
未払法人税等	48,986	22,148
賞与引当金	192,319	95,743
その他	442,942	474,164
流動負債合計	1,712,314	1,511,354
固定負債		
長期借入金	200,196	83,370
その他	11,449	10,303
固定負債合計	211,645	93,673
負債合計	1,923,959	1,605,027
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	824,315	824,315
資本剰余金	926,896	926,896
利益剰余金	2,268,805	2,248,774
自己株式	△87,346	△87,346
株主資本合計	3,932,671	3,912,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,450	△226
為替換算調整勘定	14,113	15,349
その他の包括利益累計額合計	37,563	15,123
新株予約権	720	—
純資産合計	3,970,956	3,927,763
負債純資産合計	5,894,915	5,532,791

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,315,902	2,619,573
売上原価	1,385,179	1,514,288
売上総利益	930,723	1,105,284
販売費及び一般管理費	1,108,364	1,111,715
営業損失(△)	△177,641	△6,430
営業外収益		
受取利息	16	31
受取配当金	150	132
持分法による投資利益	14,994	3,053
助成金収入	752	170
保険解約返戻金	—	1,620
引継債務償却益	549	—
その他	1,686	1,393
営業外収益合計	18,148	6,400
営業外費用		
支払利息	2,919	519
為替差損	26,916	1,221
その他	78	282
営業外費用合計	29,914	2,023
経常損失(△)	△189,406	△2,053
特別利益		
投資有価証券売却益	3,538	86,063
関係会社株式売却益	19,724	—
持分変動利益	78,897	—
新株予約権戻入益	1,363	720
特別利益合計	103,523	86,784
特別損失		
和解金	—	5,360
特別損失合計	—	5,360
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△85,882	79,370
法人税、住民税及び事業税	3,127	6,320
法人税等調整額	△51,236	32,472
法人税等合計	△48,108	38,793
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,773	40,577
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,883	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△43,656	40,577

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,773	40,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,057	△23,677
為替換算調整勘定	4,384	1,334
持分法適用会社に対する持分相当額	△349	△98
その他の包括利益合計	6,092	△22,440
四半期包括利益	△31,681	18,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,564	18,136
非支配株主に係る四半期包括利益	5,883	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デジタルマー ケティング 関連事業	ITインフラ 関連事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	345,603	1,970,299	—	2,315,902	—	2,315,902
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,498	1,499	—	4,997	△4,997	—
計	349,102	1,971,798	—	2,320,900	△4,997	2,315,902
セグメント損失(△)	△99,651	△69,604	△8,385	△177,641	—	△177,641

(注)1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引消去4,997千円であります。

2 セグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デジタルマー ケティング 関連事業	ITインフラ 関連事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	389,606	2,229,966	—	2,619,573	—	2,619,573
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,585	1,454	—	3,039	△3,039	—
計	391,191	2,231,420	—	2,622,612	△3,039	2,619,573
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△17,653	16,645	△5,422	△6,430	—	△6,430

(注)1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引消去3,039千円であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致して  
おります。